

# 工事事故防止行動計画 ニュースレター

今回は、工事事故防止に向けた**袋井土木事務所**の取組について御紹介します。

袋井土木事務所では、平成28年度に「事故撲滅プロジェクトチーム」を立ち上げ、工事事故防止に向けた様々な対策に取り組んでいます。



安全パトロールによる現場指導



業者向けに建設業協会での安全講習会を実施  
(一部はリモート参加)

中でも、事務所発注工事で発生した事故内容、再発防止策等を掲載した「工事事故対策通信」は、平成30年1月から配信を開始し、これまでに累計38通を発行。

事務所の全工事関係者に配布しており、受発注者双方の安全意識の向上に効果が期待されます。



事務所内では、職員、来訪者の目につく階段の壁に掲示し、安全意識の醸成を促しています。



※ 次ページに、袋井土木事務所管内で発生した地下埋設物破損事故についての情報を掲載した「工事事故対策通信vol.38」を掲載します。

地下埋設物に関する事故が多発しております。

試掘においては埋設物の目視確認、埋設物管理者の立会を原則とし、**人力による丁寧な掘削**を行い、拙速な判断で事故を発生させないよう十分注意しましょう。



# 工事事故対策通信

～埋設管を破損する事故が発生しました～

Vol. 38

令和3年12月発行

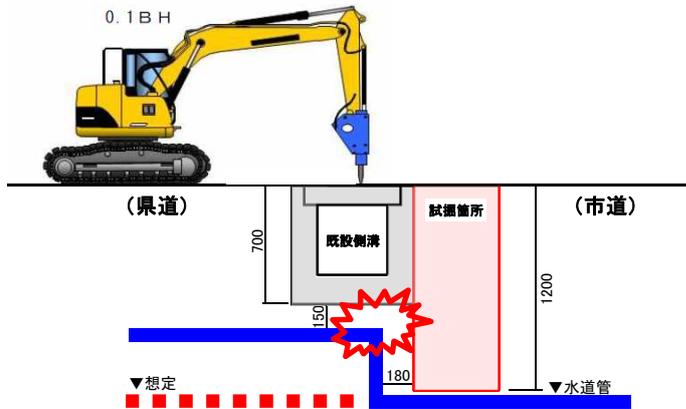
袋井土木発注工事 事故発生件数 令和3年度	事故項目	工事関係者負傷者	第三者(物損)	第三者(負傷)	工事事故合計	令和3年12月末現在 ( ):令和2年度全体
	件数	0件(1)	6件(7)	0件(0)	6件(8)	

大型ブレーカーによる既設側溝底版の取壊し時に、**上水道管**の継ぎ手が抜け漏水し、周辺の**住宅に断水が発生した。**



## 【事故の原因】

管網図をもとに試掘を行ったが、埋設管が確認されなかったため、工事の影響範囲にないものと判断し、正確な位置や高さを把握しないまま取壊しを行った。  
既設側溝を挟み管の高さが変わることが予測されたが、県道側で試掘を行わず、側溝直下で立ち上がっていることに気付かなかった。



## 【事故の対策】

- ・ 管が露出するまで試掘を行い、位置、高さ及び破損の有無を目視で確認するとともに埋設物管理者に立会を求める。
- ・ 試掘時は、手堀により管を傷付けないよう慎重に作業する。

**特に埋設管との交差部は、構造物の前後区間で試掘を行うなど管路の位置を明確にし、事故を未然に防ぎましょう！**



問合せ先  
袋井土木事務所 企画検査課  
TEL: 0538-42-3216  
Mail: fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp